



SVF Ver. 10.1

マイグレーション解説書

目次

本マニュアルについて	1
1. マイグレーションの概要	5
2. マイグレーションツールによる移行対象のデータ	9
2.1. データ移行処理のルールについて	9
2.2. 設定情報とスプールデータ	10
2.2.1. 帳票設計	10
2.2.2. 帳票出力/他社連携基盤ソリューション	14
2.2.3. 各種システム連携	17
2.2.4. 印刷運用管理	18
2.3. 様式ファイルとクエリー様式ファイル	21
3. 旧バージョンとの差異	23
3.1. 廃止された設定項目	23
3.1.1. 帳票設計	23
3.1.2. 帳票出力/他社連携基盤ソリューション	23
3.1.3. 印刷運用管理	28
3.2. 廃止された様式ファイル形式と属性変更	31
3.3. 廃止された API	39
4. 印刷結果に差異がある場合の対処	42
4.1. 背景色が有効にならない	42
4.2. ソフトフォントで IBM 拡張文字が出力されない	43

本マニュアルについて

本マニュアルでは、SVF のマイグレーションの概要、マイグレーションツールによる移行対象のデータ、旧バージョンとの差異などについて説明します。

マニュアルの体系

マイグレーションに関するマニュアルの体系は、次のとおりです。

マニュアル	記載内容	対象読者
SVF マイグレーション解説書	SVF のマイグレーションの概要、マイグレーションツールによる移行対象のデータ、旧バージョンとの差異などについて説明します。	システム開発者、帳票開発者、管理者
SVF マイグレーション手順書	SVF Migration Tool for Java Edition を使用した SVF のマイグレーション手順、および新旧バージョンの印刷結果の比較手順について説明します。	システム開発者、帳票開発者、管理者
パッチ適用手順書	SVF Ver. 10.1 パッチの適用手順を説明します。	システム開発者、帳票開発者、管理者

SVF のマニュアル体系は、次のとおりです。

分類	マニュアル名	概要	対象読者
帳票設計 (SVF 設計部製品)	SVFX-Designer 帳票作成ガイド	SVFX-Designer のセットアップ手順、帳票やクエリーの設計方法について説明します。	帳票開発者
	SVFX-Designer ファーストステップガイド	SVFX-Designer を初めて使用するユーザー向けに、サンプルデータを使って帳票を設計する方法をステップ・バイ・ステップで説明します。	帳票開発者
	SVF Web Designer 管理ガイド	SVF Web Designer のセットアップ手順、SVF Web Designer サーバーの管理方法について説明します。	帳票開発者、管理者
	SVF Web Designer 帳票作成ガイド	SVF Web Designer での帳票の設計方法について説明します。	帳票開発者
各種システム連携	Universal Connect/X 管理ガイド	Universal Connect/X のセットアップ手順、動作設定や運用管理の方法、UCXSingle の使用方法などについて説明します。また、サンプルデータを使った Universal Connect/X の動作設定から帳票出力までをステップ・バイ・ステップで説明します。	システム開発者、管理者

分類	マニュアル名	概要	対象読者
	SVF for Web/Client 管理ガイド	SVF for Web/Client のセットアップ手順、実行方法について説明します。	システム開発者、管理者
	SVF Connect for Java API 管理ガイド	SVF Connect for Java API のインストール手順、サービスへの登録方法などについて説明します。	システム開発者、管理者
	SVF Connect for ASP/COM API 管理ガイド	SVF Connect for ASP/COM API のインストール手順、サービスへの登録方法などについて説明します。	システム開発者、管理者
	SVF Connect for .NET Framework API 管理ガイド	SVF Connect for .NET Framework API のインストール手順、サービスへの登録方法などについて説明します。	システム開発者、管理者
	SVF Client for .NET Framework API Plus 管理ガイド	SVF Client for .NET Framework API Plus のインストール手順、アプリケーションの作成方法、ライブラリ詳細について説明します。	システム開発者、管理者
	SVF Web Direct Print ユーザーズガイド	SVF Web Direct Print の機能を Web アプリケーションに組み込む方法や、SVF Web Direct Print の運用に関する手順について説明します。	システム開発者、管理者
印刷運用管理	RDE スプール管理ガイド	Report Director Enterprise のセットアップ手順、サーバーの設定と運用、クライアント（RDE ユーティリティ）の操作などについて説明します。	システム開発者、管理者
	RDE Utility Developer's Kit 開発ガイド	RDE Utility Developer's Kit のインストール手順、ライブラリ詳細などについて説明します。	システム開発者
	RDE スケーラブル構成ガイド	Report Director Enterprise のサーバーモジュールを複数のサーバーマシンに配置する場合のセットアップ手順、設定や操作について説明します。	システム開発者、管理者
帳票出力 (SVF 実行部製品)	SVF 帳票出力製品 管理ガイド	SVF 実行部製品のセットアップ手順、SVF サーバーやプリンター機種別の設定方法などについて説明します。	システム開発者、管理者
	SVF for TIFF 図面管理ガイド	SVF for TIFF 図面のセットアップ手順、実行方法について説明します。	システム開発者、管理者
	SVF for PDF Client Edition 管理ガイド	SVF for PDF Client Edition のセットアップと、SVF for PDF Client Edition 固有の機能、使用上の制限事項について説明します。	システム開発者、管理者

分類	マニュアル名	概要	対象読者
	SVF Java PRODUCTS API 関数リファレンスマニュアル	SVF 実行部製品が提供する API 関数について説明します。	システム開発者
	日本語以外の帳票出力ガイド	SVF 製品群を使用して、日本語以外の言語で帳票を出力する際の設定、制限事項について説明します。	システム開発者、管理者
	Excel 様式利用ガイド	SVF 製品群を使用して、Excel ファイルを様式ファイルとして読み込み、帳票を出力する際の設定、制限事項について説明します。	システム開発者、帳票開発者、管理者
	Word 様式利用ガイド	SVF 製品群を使用して、Word ファイルを様式ファイルとして読み込み、帳票を出力する際の設定、制限事項について説明します。	システム開発者、帳票開発者、管理者
他者連携基盤ソリューション	SVF for Oracle E-Business Suite 管理ガイド	SVF for Oracle E-Business Suite/Java Edition および SVF for Oracle E-Business Suite Connect 実行部のインストール手順、帳票の出力方法などについて説明します。	システム開発者、管理者
エラーコード	SVF 製品エラーコード一覧	SVF サーバー製品のエラーコードとその内容、原因や対処方法について説明します。	システム開発者、管理者

マニュアル内で使用する表記

マニュアル内で使用する表記について説明します。

注意、参考、制限

マニュアル内では、注意、参考、制限を次のように区別して記載しています。

注意

操作によって元の状態に戻れなくなる場合や、元の状態に戻るのが難しい場合に、このパーツで示します。

参考

製品を使用する上での補足情報をこのパーツで示します。

制限

製品の制限をこのパーツで示します。

記号

マニュアル内で使用する記号の意味は、次のとおりです。

記号	表記例	意味
[]	[ファイル] メニュー	製品画面に表示されている項目名やメニュー名を表します。OS や他社製品の項目名やメニュー名も同様に表します。
< >	http://<IP アドレス またはサーバー名>	URL やファイル名の一部など、環境によって変わる文字列を表します。
\	c:\svf	入力例やコマンドライン表記例では、円記号 (¥) はバックスラッシュで表します。

商標

本マニュアルに記載されている社名および商品名等の名称は、各社の商標または登録商標です。

著作権

(C) 1995 WingArc1st Inc. All rights reserved.

その他

本マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。

発行

2021 年 5 月 10 日 初版

1. マイグレーションの概要

ここでは、SVFのマイグレーションとは何か、マイグレーションで実施する作業、マイグレーションの対象製品およびバージョンについて説明します。

- [SVFのマイグレーションとは \(p. 5\)](#)
- [マイグレーションで実施する作業 \(p. 6\)](#)
- [マイグレーションの対象製品およびバージョン \(p. 7\)](#)

SVFのマイグレーションとは

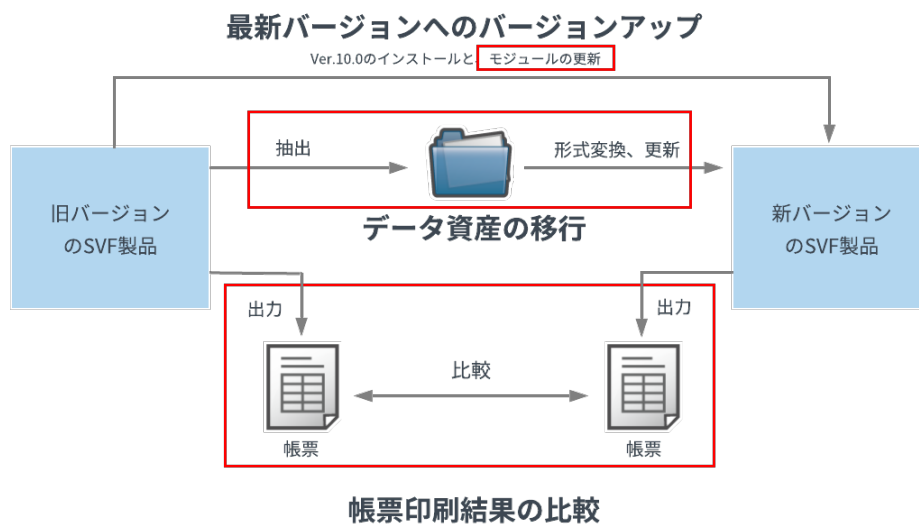
SVFでのマイグレーションとは、SVF製品を旧バージョンから最新バージョンへバージョンアップし、データ資産（設定およびデータ）を新環境へ移行する作業のことです。SVFのマイグレーションでは、新環境で印刷した帳票にレイアウト崩れなどの問題が発生しないことが重要です。データ資産を新環境へ移行したら、新旧の印刷結果を比較して差異がないかを確認し、必要に応じて設定や様式ファイルを修正します。

SVFでは、マイグレーションを支援するツールとして「SVF Migration Tool for Java Edition（以降、マイグレーションツールと呼びます）」を提供しています。マイグレーションツールの機能を次に示します。

- モジュールの更新
Ver.10.0を最新のモジュールに更新します。
- データ資産の移行
既存環境から各種設定情報、様式ファイル、クエリー様式ファイル、およびスプールデータ（Report Director Enterpriseを使用している場合）を抽出し、最新のバージョンで使用できる形式に変換した上で、新環境を更新します。
- 帳票の印刷結果の比較
既存環境と新環境からそれぞれテスト用帳票を出力し、印刷結果を比較します。これにより、帳票をプリンターで印刷することなく、新環境に移行することで生じる既存環境との印刷結果（描画データ）の差異を把握できます。

マイグレーションツールは同じコンピューター内でのマイグレーションでも、異なるコンピューター間でのマイグレーションでも使用できます。

マイグレーションで実施する作業



Ver.10.0 のインストール

旧バージョンの製品のアンインストール、および Ver.10.0 のインストールを実施します。

注意

- 旧製品 (Ver. 10 未満) がインストールされた同じコンピューター内でマイグレーションする場合、旧バージョンの製品のアンインストール前に既存環境で次の作業を実施してください。
 - 設定およびデータの抽出
 - テスト用帳票 (マイグレーション後の比較に使用する印刷データ) の出力
 - 必要に応じて、バックアップ
- 既存環境と新環境は、SVF 実行部製品、Report Director Enterprise、Universal Connect/X の製品構成を同一にしてください (オプション製品および Report Director Enterprise でスケラブル構成にマイグレーションする場合を除く)。
 - 新環境で使用する製品を増やす場合
マイグレーション後に新環境に製品をインストールしてください。
 - 新環境で使用する製品を減らす場合
既存環境で該当製品をアンインストールして、新環境と製品構成を揃えてからマイグレーションしてください。

モジュールの最新バージョンへの更新とデータ資産の移行

既存環境から設定およびデータを抽出し、形式を変換して新環境へ移行します。データ資産の移行の際に、モジュールが最新バージョンに更新されます。

本作業はマイグレーションツールを使用できますが、一部の製品ではツールの機能に制限があり、モジュール更新の支援ツールである SVF Manual Update Utility を使用して手動で実施する必要があります。

す。製品ごとのマイグレーションツールの使用可否、および自動/手動それぞれの作業手順については、『SVF マイグレーション手順書』を参照してください。また、マイグレーションツールで移行できるデータについては「[マイグレーションツールによる移行対象のデータ \(p. 9\)](#)」を、マイグレーションツールによる移行対象のデータのうち、最新バージョンでは廃止されている設定や API については「[旧バージョンとの差異 \(p. 23\)](#)」参照してください。

注意

- 様式ファイルや、ユーザーが SVF 実行部製品上に作成したプリンターの [フォント設定] など指定しているフォントが新環境にも存在することを確認してください。
既存環境で使用していたフォントが新環境に存在しない場合、フォント埋め込みやグラフィックモードで出力していた帳票は出力結果が異なるか、実行時に異常終了します。
- Report Director Enterprise Ver. 9.1 SP2 以前 (SP 適用なしを含む) の場合、データの抽出に失敗する可能性があります。該当する環境の場合には、データベースのメンテナンスが必要になりますので、サポートセンターにお問い合わせください。
対象の問題は、Report Director Enterprise Ver. 9.1、Ver. 9.1 SP1、Ver. 9.1 SP2 で長期間稼働されていた環境で発生します。

帳票の印刷結果の比較

既存環境および新環境でテスト用帳票を出力し、印刷結果を比較します。

本作業はマイグレーションツールを使用できます。レイアウトや印字位置の違いなどを確認する目的であれば、マイグレーションツールが生成するテスト用のデータファイル (CSV 形式) を使用して簡単に帳票を出力し、印刷結果を比較できます。出力時にデータを集計する設定にしている場合や実運用で指定している API の動作を確認したい場合、実運用で使用しているデータファイル (CSV 形式) を用意することで、より精度の高い比較ができます。

比較結果はビューアーで確認できるため、どこに差異があるかをすぐに見つけられます。印刷結果に差異がある場合の対処については、「[印刷結果に差異がある場合の対処 \(p. 42\)](#)」を参照してください。

マイグレーションの対象製品およびバージョン

マイグレーションの対象となる SVF 製品およびバージョンは次のとおりです。

製品のカテゴリ	製品名	対象バージョン
帳票設計	SVFX-Designer	1.0 以降
	SVF Web Designer	9.2
帳票出力	SVF for Java Print	6.3 以降
	SVF for PDF	6.3 以降
	SVF for PDF Client Edition	9.2
	SVF for FX-STDOUT/Java Edition	6.3 以降
	SVF for NEC MultiCoder	7.6 以降
	SVF for PlainTXTII/Java Edition	6.3 以降
	SVF for SATO/Java Edition	6.3 以降

製品のカテゴリ	製品名	対象バージョン
	SVF for TEC/Java Edition	6.3 以降
	SVF for Web/CSV Java Edition	6.3 以降
	SVF for Web/TIFF Java Edition	6.3 以降
	SVF for Excel	9.0 以降
	SVF for Zebra	9.1 以降
	SVF for PIFVIEWER/Java Edition	6.3 以降
各種システム連携	Universal Connect/X	5.3f 以降
	Universal Connect/X Mail Edition	5.3f 以降
	Java Connect	6.2
	SVF Connect for Java API	7.0 以降
	ASP/COM Connect	6.2
	SVF Connect for ASP/COM API	7.0 以降
	Windows Server Connect	6.2
	SVF Connect for .NET Framework API	7.0 以降
	SVF for Web/Client	6.3 以降
	SVF Web Direct Print	9.2
	SVF Client for .NET Framework API Plus	9.2.4
印刷運用管理	Report Director Enterprise	1.1d 以降
	RDE Limited	9.2
	RDE Option	2.2 以降
	RDE Multi-Language Pack	3.2 以降
他社連携基盤ソリューション	SVF for Oracle E-Business Suite	1.1 以降
	SVF for Report Viewer	6.3
	SVF for RV	8.2 以降
	SVF for FiBridgell/Java Edition	6.3 以降

2. マイグレーションツールによる移行対象のデータ

ここでは、マイグレーションツールによるデータ移行処理のルール、およびマイグレーションツールで移行できる設定情報、スプールデータ、様式ファイル、クエリー様式ファイルについて説明します。

- [データ移行処理のルールについて \(p.9\)](#)
- [設定情報とスプールデータ \(p.10\)](#)
- [様式ファイルとクエリー様式ファイル \(p.21\)](#)

2.1. データ移行処理のルールについて

マイグレーションツールでは、次のルールに従いデータを移行します。

設定情報

既存環境で抽出した環境設定やプリンター情報などの各種設定情報は、新環境の形式に合わせて自動で変換されます。新環境の形式に変換する際には、次のような変換処理が行われます。

- **既存環境に存在しており、新環境でも存在している項目**
既存環境の値をそのまま移行します。設定形式が変更された場合は、新環境の形式に変更した上で移行します。同じ内容の項目で既存環境と新環境で項目名が変更されているものは、新環境の項目として値を移行します。
- **既存環境に存在しておらず、新環境には存在している項目**
既存環境との互換性をできるだけ維持する値を設定します。
- **既存環境に存在しており、新環境には存在しない項目**
既存環境の設定値は移行されません。

RDE のスプールデータ

既存環境の RDE にスプールされている文書データは、新環境の RDE にスプールした状態で移行されます。なお、スプールデータは移行しないこともできます。

様式ファイル

既存環境で抽出した様式ファイルは、新環境の形式に合わせて自動で変換されます。マイグレーションツールに含まれる様式ファイル変換ツールを単独で利用することもできます。様式ファイルを変換する際には、主に次のような変換処理が行われます。

- FRM 形式から XML 形式への変換
- 用紙の初期値設定がある場合、設定の削除
- 既定フォント設定の修正
- チャート、テキストフレームのレイヤーを補完
- フローチャートをスプライン曲線と固定文字に変換
- 計算式/編集式内の旧属性変更/属性変更を属性式に変換

2.2. 設定情報とスプールデータ

マイグレーションツールによる移行対象のデータおよび移行対象外のデータについて、製品のカテゴリごとに分類して説明します。

製品のカテゴリについては、「[マイグレーションの概要 \(p. 5\)](#)」の「[マイグレーションの対象製品およびバージョン \(p. 7\)](#)」を参照してください。

- [帳票設計 \(p. 10\)](#)
- [帳票出力/他社連携基盤ソリューション \(p. 14\)](#)
- [各種システム連携 \(p. 17\)](#)
- [印刷運用管理 \(p. 18\)](#)

2.2.1. 帳票設計

製品カテゴリ「帳票設計」に含まれる製品の移行対象データおよび移行対象外のデータは次のとおりです。

SVFX-Designer

SVFX-Designer の移行対象データは次のとおりです。

設定情報	設定ファイル名	備考
アプリケーション設定	designer.properties.xml	
動作設定	Operation.properties.xml	<ul style="list-style-type: none">• Ver. 8.0 から Ver. 9.1 で行った [部品グループ] の設定には、設定が移行されない設定項目があります。移行されない設定項目の一覧は、「移行されない [部品グループ] の設定項目 (p. 11)」を参照してください。 旧バージョンで非表示に設定していた（既定値から変更していた）場合には、移行後に手動で設定し直す必要があります。• [デザインコンバータ] の設定は移行されません。
アイテム 既定値	<ul style="list-style-type: none">• IniSetG.xml• IniSetG.cs_CZ.xml• IniSetG.en.xml• IniSetG.fr_FR.xml• IniSetG.ko_KR.xml• IniSetG.th_TH.xml• IniSetG.zh_CN.xml• IniSetG.zh_TW.xml	

設定情報	設定ファイル名	備考
合成アイテム	UserCompositions.xml (規定値)	<ul style="list-style-type: none"> 移行対象の設定ファイル名は、[動作設定] ダイアログの [合成アイテム] に表示される [設定ファイル名] で確認できます。 日本語版以外の場合は、<設定ファイル名>.<言語ロケール>.xml が移行対象のファイル名になります。
データベース接続設定	sql_driver.xml	

移行されない [部品グループ] の設定項目

アイテム	設定項目名
フィールド	X(dot)、Y(dot)、累計値のクリア、ページカウントのクリア、改ページ
固定文字	X(dot)、Y(dot)
繰り返し	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)
サブフォーム	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)、「データがないとき、サブフォームを印刷しない」
レコード	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)、「明細行が 1 行の場合、印刷しない」、「全フィールドが初期値のとき、印字しない」
イメージ	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)
バーコード	X(dot)、Y(dot)、累計値のクリア、ページカウントのクリア、改ページ
GS1 データバー	X(dot)、Y(dot)、累計値のクリア、ページカウントのクリア、改ページ、セパレーター高さ(X)
2次元バーコード	X(dot)、Y(dot)、2次元バーコード種類
連写	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)、「データがないとき、サブフォームを印刷しない」
直線	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)、直線の色 2
矩形	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)、直線の色 2、グラデーション始点 X(dot)、グラデーション始点 Y(dot)、グラデーション終点 X(dot)、グラデーション終点 Y(dot)、円形グラデーション中心 X(dot)、円形グラデーション中心 Y(dot)
折れ線・多角形	直線の色 2、グラデーション始点 X(dot)、グラデーション始点 Y(dot)、グラデーション終点 X(dot)、グラデーション終点 Y(dot)、円形グラデーション中心 X(dot)、円形グラデーション中心 Y(dot)、線の色 1

アイテム	設定項目名
正多角形	直線の色 2、グラデーション始点 X(dot)、グラデーション始点 Y(dot)、グラデーション終点 X(dot)、グラデーション終点 Y(dot)、円形グラデーション中心 X(dot)、円形グラデーション中心 Y(dot)、中心 X(dot)、中心 Y(dot)、線の色 1
円	直線の色 2、グラデーション始点 X(dot)、グラデーション始点 Y(dot)、グラデーション終点 X(dot)、グラデーション終点 Y(dot)、円形グラデーション中心 X(dot)、円形グラデーション中心 Y(dot)、中心 X(dot)、中心 Y(dot)、線の色 1
楕円	直線の色 2、グラデーション始点 X(dot)、グラデーション始点 Y(dot)、グラデーション終点 X(dot)、グラデーション終点 Y(dot)、円形グラデーション中心 X(dot)、円形グラデーション中心 Y(dot)、中心 X(dot)、中心 Y(dot)、線の色 1
円弧	直線の色 2、グラデーション始点 X(dot)、グラデーション始点 Y(dot)、グラデーション終点 X(dot)、グラデーション終点 Y(dot)、円形グラデーション中心 X(dot)、円形グラデーション中心 Y(dot)、中心 X(dot)、中心 Y(dot)、線の色 1
楕円の円弧	直線の色 2、グラデーション始点 X(dot)、グラデーション始点 Y(dot)、グラデーション終点 X(dot)、グラデーション終点 Y(dot)、円形グラデーション中心 X(dot)、円形グラデーション中心 Y(dot)、中心 X(dot)、中心 Y(dot)、線の色 1
ベジェ曲線	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)、直線の色 2、線の色 1、コントロールポイント 1X(dot)、コントロールポイント 1Y(dot)、コントロールポイント 2X(dot)、コントロールポイント 2Y(dot)
スプライン曲線	直線の色 2、グラデーション始点 X(dot)、グラデーション始点 Y(dot)、グラデーション終点 X(dot)、グラデーション終点 Y(dot)、円形グラデーション中心 X(dot)、円形グラデーション中心 Y(dot)、線の色 1
(ブロック矢印)単一方向	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)
(ブロック矢印)曲折・屈折	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)
(ブロック矢印)U ターン	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)、U ターンサイズ(dot)
(ブロック矢印)カーブ	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)
矩形の吹き出し	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)、頂点 X(dot)、頂点 Y(dot)、テキスト位置 X(dot)、テキスト位置 Y(dot)
楕円形の吹き出し	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)、頂点 X(dot)、頂点 Y(dot)、テキスト位置 X(dot)、テキスト位置 Y(dot)
雲形の吹き出し	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)、頂点 X(dot)、頂点 Y(dot)、テキスト位置 X(dot)、テキスト位置 Y(dot)
メモ	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)

アイテム	設定項目名
時計	中心 X(dot)、中心 Y(dot)、時刻表示の形、時刻表示の幅(dot)、時刻表示の色
星	中心 X(dot)、中心 Y(dot)
チャート	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)
テキストフレーム	始点 X(dot)、始点 Y(dot)、終点 X(dot)、終点 Y(dot)、線の色 1
合成アイテム	左上 X(dot)、左上 Y(dot)

移行対象外のデータについて

次のデータは移行対象外です。これらの設定を変更している場合、移行後に手動で反映してください。

- アプリケーション、Java の起動オプション（ヒープサイズ、クラスパスの設定など）
- ログファイル

SVF Web Designer

SVF Web Designer の移行対象データは次のとおりです。

設定情報	設定情報詳細	備考
プロジェクト	プロジェクトエクスプローラーで登録したプロジェクト情報 <ul style="list-style-type: none"> • 様式ファイル • [埋め込みフォーム] • [クエリー様式ファイル] • [その他のファイル]（画像ファイルなど） 	
ディレクトリ	[ディレクトリの作成] ダイアログで登録したディレクトリ情報	
最近使用したプロジェクト、お気に入り	プロジェクトエクスプローラーで登録した [最近使用したプロジェクト]、[お気に入り] の情報	
グループ	プロジェクトエクスプローラーで登録したグループ情報	
ユーザー	プロジェクトエクスプローラーで登録したユーザー情報	
ユーザープロファイル	[ユーザープロファイル] ダイアログで登録したユーザープロファイル情報	
サーバー環境設定	[サーバー環境設定] ダイアログで登録したサーバー環境設定情報	
フォントリスト	[フォント設定] ダイアログで登録したフォントリスト情報	
カラーパレット	用紙の [カラーパレット設定] プロパティで登録したカラーパレット情報	
システムのアイテム既定値	[既定値の設定] ダイアログで登録したシステムのアイテム既定値情報	
合成アイテム	[アイテムの合成] ダイアログで登録した合成アイテム情報	

設定情報	設定情報詳細	備考
システムテンプレート、ユーザーテンプレート	[新しいプロジェクト]ダイアログで選択できるシステムテンプレート、ユーザーテンプレート情報	

移行対象外のデータについて

次の情報は移行対象外です。これらの設定を変更している場合、移行後に手動で反映してください。

- アプリケーション、Java の起動オプション（ヒープサイズ、クラスパスの設定など）
- Apache Tomcat の設定
- ログファイル

2.2.2. 帳票出力/他社連携基盤ソリューション

製品カテゴリ「帳票出力」および「他社連携基盤ソリューション」含まれる製品の移行対象データおよび移行対象外のデータは次のとおりです。

SVF 実行部製品

SVF 実行部製品の移行対象データは次のとおりです。

設定情報	設定ファイル名	備考
共通設定	<ul style="list-style-type: none"> • vfreport.properties • vfreport.properties.ja • vfreport.properties.cs_CZ • vfreport.properties.en • vfreport.properties.fr_FR • vfreport.properties.ko • vfreport.properties.th_TH • vfreport.properties.zh_CN • vfreport.properties.zh_TW 	<ul style="list-style-type: none"> • 既存環境で、日本語ロケール以外の OS から SVF 環境設定画面にアクセスして指定を行っていた場合は、SVF 環境設定画面の [リンクフィールド] - [区切り文字] - [その他] に指定した文字が、文字化けする場合があります。マイグレーションツールで移行後に、SVF 環境設定画面で確認し、文字化けが発生している場合は、SVF 環境設定画面にて [リンクフィールド] - [区切り文字] - [その他] 入力欄の文字を指定しなおしてください。 • JDBC ドライバーの接続先は、以下の設定のみ移行します。以下の設定以外は、必要に応じて手動で設定を移行してください。 <ul style="list-style-type: none"> • Query.Driver.DB2.APP • Query.Driver.DB2.JCC • Query.Driver.DB2.NET • Query.Driver.IBM.WAS3 • Query.Driver.IBM.WAS4 • Query.Driver.IDB • Query.Driver.MSSQL2005 • Query.Driver.MYSQL • Query.Driver.ODBC • Query.Driver.ORCL.KPRB • Query.Driver.ORCL.OCI8 • Query.Driver.ORCL.THIN • Query.Driver.POSTGRESQL • Query.Driver.SQLSERVER • Query.Driver.SYBASE.INT • Query.Driver.SYBASE.INT2 • Query.Driver.SYBASE.TDS • Query.Driver.SYBASE.TDS2

設定情報	設定ファイル名	備考
ユーザーが作成したプリンター	ユーザーが作成したプリンターのプロパティファイル	次のプリンターは移行されません。 <ul style="list-style-type: none"> • Ver. 10 で対応していない機種種のプリンター • Ver. 10 でプリンター名に使用できない、以下の文字が含まれているプリンター , ? < > * : ; / ¥ " ! = # .
SVF スプーラーの設定	vfreport.spooler.properties	
SVF サーバーの設定 (HTTP 接続用)	svfhttpserver.properties	
全半角判定テーブル	<ul style="list-style-type: none"> • 全半角判定テーブル定義ファイル (vfreport.characters.properties) • 全半角判定テーブル定義ファイル (vfreport.characters.properties) に記載されている全半角判定テーブルファイル 	
TTF テーブル	vfreport.TTFTable.properties	
Excel 様式の設定	svf_op.properties	
ソフトフォント	<ul style="list-style-type: none"> • .sft • .spf • .dat • .idx 	
SPD ファイル	.spd	SVF for Java Print のみです。
SVF for Oracle E-Business Suite サーバーの設定	svforaserver.properties	SVF for Oracle E-Business Suite インストール時のみです。

移行対象外のデータについて

次のデータは移行対象外です。これらの設定を変更している場合、移行後に手動で反映してください。

- スクリプトファイル (svf_startup.sh、svf_shutdown.sh、spooler、SvfJavaConnectServer、SvfSpoolerCtrl など)
- アプリケーション、Java の起動オプション (ヒープサイズ、クラスパスの設定など)
- Apache Tomcat の設定
- DotPrinter 用の Parameter ファイル
- 機種別基本設定で設定した値と設定項目の UI 情報 (vfreport.機種名 UI.properties.*)

- PDF ユーティリティおよび SVF for TIFF 図面で使用する次のファイル
 - プロファイル (*.profile)
 - 環境設定ファイル (pdfutilities.properties)
- ログファイル

2.2.3. 各種システム連携

製品カテゴリ「各種システム連携」に含まれる製品の移行対象データおよび移行対象外のデータは次のとおりです。

Universal Connect/X、Universal Connect/X Mail Edition

Universal Connect/X、Universal Connect/X Mail Edition の移行対象データは次のとおりです。

設定情報	設定ファイル名	備考
動作設定	unicon.ini	
ファイル書式定義	schema.ini	<ul style="list-style-type: none"> • unicon.ini に登録されているデータファイル名のファイルパスと同じ場所にある schema.ini を移行します。 • ファイルパスに「=」が含まれている場合、抽出に失敗します。
置換マスター	置換マスターファイル (.mst)	<p>次のジョブでは移行されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 動作設定の [置換マスターファイル名] 項目に [フィールド名を参照] を設定している • 動作設定の [置換マスターファイル名] 項目に [データファイル名を指定] を設定しており、そのデータファイル名でワイルドカード (*、?) を使用している • ファイルパスに「=」が含まれている場合、抽出に失敗します。
エンコーディング設定	ucxencoding.properties	
サーバー設定	serverconfig.properties	
ログインパスワード	ucxadmins.properties	Ver. 5.3f で作成したファイルを移行すると、サービス開始時にパスワードが暗号化されますが、暗号化前のファイルが ucxadmins.properties_old として残ります。
プロキシ設定	ucxproxyconfig.xml	

移行対象外のデータについて

次のデータは移行対象外です。これらの設定を変更している場合、移行後に手動で反映してください。

- スクリプトファイル (svf_startup.sh、svf_shutdown.sh、UCXServer など)
- アプリケーション、Java の起動オプション (ヒープサイズ、クラスパスの設定など)
- Apache Tomcat の設定
- データファイル
- ログファイル

Ver. 5.4 以前からのバージョンアップについて

Universal Connect/X、Universal Connect/X Mail Edition Ver. 5.4 以前と Ver. 5.5 以降で、データファイルのデータと様式ファイル上のフィールドとのマッピング仕様が変わっています。Ver. 5.4 以前では、schema.ini のマッピングテーブルより出力するフィールド名を取得していましたが、Ver. 5.5 以降では、CSV ファイルの先頭行からフィールド名を取得します。このため、Ver. 5.4 以前からのバージョンアップでは、データファイルの移行に際して次の点に注意する必要があります。

- 先頭行が項目 (フィールド名) 行でない CSV ファイルで運用されていた場合
先頭行が項目 (フィールド名) 行である CSV ファイルに変更する必要があります。
- schema.ini 上の項目名および並び順と、CSV ファイルの先頭行の項目名および並び順が一致していない場合
CSV ファイルの項目に合わせて様式ファイルのフィールド名を変更するか、または、様式ファイルのフィールド名に合わせて CSV ファイルの項目を変更する必要があります。

SVF Connect for ASP/COM API、SVF Connect for .NET Framework API、SVF Connect for Java API

SVF Connect 製品の移行対象データは次のとおりです。

設定情報	設定ファイル名	備考
アプリケーション設定	svfrclient.properties	

移行対象外のデータについて

次のデータは移行対象外です。これらの設定を変更している場合、移行後に手動で反映してください。

- アプリケーション、Java の起動オプション (ヒープサイズ、クラスパスの設定など)
- SVF 実行部製品接続用ランタイムの設定
- ログファイル

2.2.4. 印刷運用管理

製品カテゴリ「印刷運用管理」に含まれる製品の移行対象データおよび移行対象外のデータは次のとおりです。

Report Director Enterprise、RDE Option

Report Director Enterprise、RDE Option の移行対象データは次のとおりです。

設定情報	設定情報詳細	備考
スプールデータ	Report Director Enterprise にスプールされている文書データのすべて、または差分のみ移行する文書の選択については、『SVF マイグレーション手順書』を参照してください。	印刷中状態の文書は、印刷を中断した上で移行されます。
管理者	RDE 環境設定で登録した管理者情報	
ユーザー、グループ	RDE 環境設定で登録したユーザー、グループ情報	グループの権限のうち、移行元のバージョンに存在していなかった項目については「許可」が設定されます。
ユーザーが作成したサーバープリンター	RDE 環境設定でユーザーが作成したサーバープリンター	<ul style="list-style-type: none"> Ver. 10 で対応していないプリンターは移行されません。 標準構成からスケーラブル構成へのマイグレーションの場合、移行されません。
SAML 認証で使用するフェデレーションメタデータ	FederationMetadata.xml	Ver. 10.1 以降のみです。
PA プリンター	RDE 環境設定でユーザーが作成した PA プリンター	<ul style="list-style-type: none"> 新環境に PA サーバーが登録されていない場合、PA プリンターは移行されません。 ファイル出力系機種（PDF、CSV、TIFF、Excel など）のプリンターは、移行対象外です。 標準構成からスケーラブル構成へのマイグレーションの場合、移行されません。
プリンター機種	RDE 環境設定で行ったプリンター機種の設定	
プリンターグループ	RDE 環境設定で登録したサーバープリンターグループ	Ver. 9.1 以降のみです。
カラム設定	RDE 環境設定で登録した RDE ユーティリティのカラム設定	
表示オプション	RDE 環境設定で登録した RDE ユーティリティの表示オプション	
Web サービス	RDE 環境設定で行った Web サービスのログ設定	
用紙変更	RDE 環境設定で行った用紙変更の設定	
インフォメーション	RDE 環境設定で行ったインフォメーションの表示内容の設定	

設定情報	設定情報詳細	備考
バナー様式、再印刷様式、テスト印刷様式	RDE 環境設定で登録したバナー様式、再印刷様式、テスト印刷様式	
実行ログの設定	RDE 環境設定で行った実行ログの設定	
定期処理の設定	RDE 環境設定で行った定期処理の設定	Ver.2.6a 以前では、スプールデータに含まれるすべてのフィールドが全文検索の検索対象となっています。このため、Ver.2.6a 以前からの移行では、スプールデータに含まれるすべてのフィールドを検索対象フィールドに登録するかどうかを選択することができます。 手順については、『SVF マイグレーション手順書』を参照してください。
ログインユーザー	RDE 環境設定で行った[ログインユーザー情報を取得する]の設定	
セキュリティポリシー	RDE 環境設定で行ったセキュリティポリシーの設定	
RD バランサーの設定	rdbalancer.properties	Ver. 8.0 以降のみです。
RD サブレット、Web サービスの設定	reportdirector.properties	
RD サーバーの設定	rdserver.properties	
SVF サーバーの設定	svfserver.properties	
監査ログの設定	<ul style="list-style-type: none"> • log4j.properties • Logging.properties 	Ver. 3.2 以降のみです。

移行対象外のデータについて

次のデータは移行対象外です。これらの設定を変更している場合、移行後に手動で反映してください。

- スクリプトファイル (svf_startup.sh、svf_shutdown.sh、rdabortdoc.sh など)
- アプリケーション、Java の起動オプション (ヒープサイズ、クラスパスの設定など)
- Apache Tomcat の設定
- データベースの接続数
- スレッド数
- DotPrinter 用の Parameter ファイル
- ログファイル

- 印字位置調整
- ウィンドウの表示位置
- ウィンドウの表示サイズ
- クライアントプリンター

2.3. 様式ファイルとクエリー様式ファイル

様式ファイル

移行の対象となる様式ファイルは、次の帳票設計の各製品で作成された様式ファイルです。

製品	バージョン	様式ファイルの形式
Super Visual Formade フォーム設計部	2.13~6.3	FRM 形式
SVF SDK for .NET Framework	6.4~6.4h	FRM 形式
Visual Comform フォーム設計部	6.2c~6.3	FRM 形式
Report Creator	2.13c~5.3	FRM 形式
SVFX-Designer	1.0~10	XML 形式
SVF Web Designer	9.2~10	XML 形式
—	—	Word 様式、Excel 様式

様式ファイル内のアイテムに指定されている画像ファイルも移行されます。次の場所に存在する様式ファイルを移行します。

- SVF の環境設定において、[検索パス] が「使用する」の場合に、指定されているパスに存在する様式ファイル
- Universal Connect/X の動作設定において、[実行様式ファイル検索パス] が「使用する」の場合に、指定されているパスに存在する様式ファイル
- RDE 環境設定において、[バナー様式]、[再印刷様式]、[テスト印刷様式] で登録した様式ファイル

参考

マイグレーションツールで検索パスを指定することが可能です。詳細については『SVF マイグレーション手順書』を参照してください。

クエリー様式ファイル

移行の対象となるクエリー様式ファイルは、次の帳票設計の各製品で作成された様式ファイルです。

製品	バージョン	クエリー様式ファイルの形式
Super Visual Formade フォーム設計部	5.0~6.3	VRQ 形式
SVFX-Designer	1.0~10	VRQ 形式

制限

Super Visual Formade フォーム設計部で作成したクエリ様式ファイルは、ドライバー名が「ODBC」のものだけが、Ver. 10 の形式に変換されます。「ORCL」、「ORA81」のものは変換されないため、SVFX-Designer Ver. 10 のクエリデザイナー、またはクエリ接続ユーティリティで、データベース接続情報を変換する必要があります。

参考

マイグレーションツールで検索パスを指定することが可能です。詳細については『SVF マイグレーション手順書』を参照してください。

3. 旧バージョンとの差異

ここでは、マイグレーションツールによる移行対象のデータのうち、最新バージョンでは廃止されている設定や API 等について説明します。

- [廃止された設定項目 \(p. 23\)](#)
- [廃止された様式ファイル形式と属性変更 \(p. 31\)](#)
- [廃止された API \(p. 39\)](#)

3.1. 廃止された設定項目

マイグレーションツールによる移行対象のデータのうち、設定項目が廃止されたために移行されない項目について、製品のカテゴリごとに分類して説明します。

製品のカテゴリについては、「[マイグレーションの概要 \(p. 5\)](#)」の「[マイグレーションの対象製品およびバージョン \(p. 7\)](#)」を参照してください。

- [帳票設計 \(p. 23\)](#)
- [帳票出力/他社連携基盤ソリューション \(p. 23\)](#)
- [印刷運用管理 \(p. 28\)](#)

3.1.1. 帳票設計

製品カテゴリ「帳票設計」に含まれる製品の移行対象データのうち、SVF 製品の旧バージョンで存在していた設定項目で、最新バージョン (Ver. 10) で廃止されているものは次のとおりです。

SVFX-Designer

設定ファイル	設定項目	設定内容	バージョン				
			1.0	1.1	8.x	9.x	10
Operation.properties.xml	-	[動作設定] - [環境設定] メニューの全設定	○	○	○	×	×

3.1.2. 帳票出力/他社連携基盤ソリューション

製品カテゴリ「帳票出力」および「他社連携基盤ソリューション」に含まれる製品の移行対象データのうち、SVF 製品の旧バージョンで存在していた設定項目で、最新バージョン (Ver. 10) で廃止されているものは次のとおりです。

SVF 実行部製品

ART4 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

DotPrinter 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

DP300 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

ESCPAGE 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

JPP 機種（日本語）で作成したプリンターのプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

LIPS3 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

LIPS4 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

MultiCoder 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	×	○*1	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	-	○	○	×	×

(*1) Ver. 7.6 以降

NPDL2 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

PCL5 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
SoftFontBase	ソフトフォント・キャッシュ文字サイズ	○	○	○	×	×
Spooler.MaxRetryCount	LPR 接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×
UseCacheFont	ソフトフォント・キャッシュ機能	○	○	○	×	×

PCL5 機種で作成したプリンター（英語、および中国簡体字）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
SoftFontBase	ソフトフォント・キャッシュ文字サイズ	×	○*1	○	×	×
Spooler.MaxRetryCount	LPR 接続最大リトライ回数	-	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	-	○	○	×	×

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
UseCacheFont	ソフトフォント・キャッシュ機能	-	○	○	×	×

(*1) Ver. 7.1 以降

PDF 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
BarcodeResol	バーコード解像度	○	×	×	×	×

PIFVIEWER 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

POSTSCRIPT 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

PRESCRIBE2 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

PrinfinaMANAGERESCP 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	×	○*1	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	-	○	○	×	×

(*1) Ver. 7.1 以降

RPCS 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン						
		6.3	7.x	8.x	9.0	9.1	9.2	10
Jimon4cdc3	cdc3 対応	×	○	○	○	×	×	×
Spooler.MaxRetryCount	LPR 接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×	×	×
SpoolerSize	スプール領域サイズ	○	×	×	×	×	×	×
UseBand	バンド機能	×	○	○	○	×	×	×

RPDL2 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

SATOMR410 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

SATOMR410 機種で作成したプリンター（中国簡体字）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
FontCharCode	文字コード選択	×	○*1	×	×	×
FontK1	16×16 ドット横書き漢字フォント	×	○*1	×	×	×
FontK2	24×24 ドット横書き漢字フォント	×	○*1	×	×	×
FontK3	22×22 ドット横書き漢字フォント	×	○*1	×	×	×
FontK4	32×32 ドット横書き漢字フォント	×	○*1	×	×	×
FontK5	40×40 ドット横書き漢字フォント	×	○*1	×	×	×

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
FontK8	16×16 ドット横書き半角全角混在漢字フォント	×	○*1	×	×	×
FontK9	24×24 ドット横書き半角全角混在漢字フォント	×	○*1	×	×	×
FontKA	22×22 ドット横書き半角全角混在漢字フォント	×	○*1	×	×	×
FontKB	32×32 ドット横書き半角全角混在漢字フォント	×	○*1	×	×	×
FontKD	40×40 ドット横書き半角全角混在漢字フォント	×	○*1	×	×	×
FontX23	X23 フォント(基本サイズ 48×48 ドット半角のみ)	×	○*1	×	×	×
HanFontDefault	デフォルト半角フォント	×	○*1	×	×	×
PrinterKind	プリンター機種選択	×	○*1	×	×	×
WhiteBlackHoseiX	反転文字領域のアジャスト X	×	○*1	×	×	×
WhiteBlackHoseiY	反転文字領域のアジャスト Y	×	○*1	×	×	×
WhiteBlackPercent	反転文字領域サイズ	×	○*1	×	×	×
ZenFontDefault	デフォルト全角フォント	×	○*1	×	×	×
Spooler.MaxRetryCount	LPR 接続最大リトライ回数	×	○	×	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	×	○	×	×	×

(*1) Ver. 7.6 のみ

TECB474 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

VSP 機種で作成したプリンター（日本語）のプロパティファイル

設定項目	設定内容	バージョン				
		6.3	7.x	8.x	9.x	10
Spooler.MaxRetryCount	接続最大リトライ回数	○	○	○	×	×
Spooler.TcpTimeoutSec	TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×

3.1.3. 印刷運用管理

製品カテゴリ「印刷運用管理」に含まれる製品の移行対象データのうち、SVF 製品の旧バージョンで存在していた設定項目で、最新バージョン（Ver. 10）で廃止されているものは次のとおりです。

Report Director Enterprise、RDE Option

PCL5 機種で作成したプリンター（日本語）の設定

設定項目	バージョン				
	1.1d~3.0a	3.1~3.2P6	8.x	9.x	10
ソフトフォント・キャッシュ文字サイズ	○	○	○	×	×
ソフトフォント・キャッシュ機能	○	○	○	×	×

PCL5 機種で作成したプリンター（英語、および中国簡体字）の設定

設定項目	バージョン				
	1.1d~3.0a	3.1~3.2P6	8.x	9.x	10
ソフトフォント・キャッシュ文字サイズ	×	○*1	○	×	×
ソフトフォント・キャッシュ機能	-	○	○	×	×

(*1) Ver. 3.2 以降

PDF 機種で作成したプリンター（日本語）の設定

設定項目	バージョン				
	1.1d~3.0a	3.1~3.2P6	8.x	9.x	10
バーコード解像度	○	×	×	×	×
新しいモードの縦書き描画	○	×	×	×	×
OutputHyperLinXxml	×	○*1	×	×	×

(*1) Ver. 3.2 のみ

PDF 機種で作成したプリンター（中国繁体字）の設定

設定項目	バージョン				
	1.1d~3.0a	3.1~3.2P6	8.x	9.x	10
UsePoutputTMethod	×	○*1	×	×	×

(*1) Ver. 3.2 以降

PrinfinaMANAGERESCP 機種で作成したプリンター（日本語）の設定

設定項目	バージョン				
	1.1d~3.0a	3.1~3.2P6	8.x	9.x	10
半角の全角変換(ESCP)	×	○*1	○	×	×
ソフトフォント(拡張設定)	×	○*1	○	×	×

(*1) Ver. 3.2 以降

RPCS 機種で作成したプリンター（日本語）の設定

設定項目	バージョン						
	1.1d～ 3.0a	3.1～3.2P6	8.x	9.0	9.1	9.2	10
cdc3 対応	×	○	○	○	×	×	×
プリンタモード	○	○	○	○	×	×	×
TCP タイムアウト時間(秒)	○	○	○	×	×	×	×
スプール領域サイズ	○	×	×	×	×	×	×
バンド機能	×	○	○	○	×	×	×
OCRB フォントの強制イメージ化	×	○	○	○	×	×	×

SATOMR410 機種で作成したプリンター（中国簡体字）の設定

設定項目	バージョン				
	1.1d～ 3.0a	3.1～3.2P6	8.x	9.x	10
文字コード選択	×	○*1	×	×	×
16×16 ドット横書き漢字フォント	×	○*1	×	×	×
24×24 ドット横書き漢字フォント	×	○*1	×	×	×
22×22 ドット横書き漢字フォント	×	○*1	×	×	×
32×32 ドット横書き漢字フォント	×	○*1	×	×	×
40×40 ドット横書き漢字フォント	×	○*1	×	×	×
16×16 ドット横書き半角全角混在漢字フォント	×	○*1	×	×	×
24×24 ドット横書き半角全角混在漢字フォント	×	○*1	×	×	×
22×22 ドット横書き半角全角混在漢字フォント	×	○*1	×	×	×
32×32 ドット横書き半角全角混在漢字フォント	×	○*1	×	×	×
40×40 ドット横書き半角全角混在漢字フォント	×	○*1	×	×	×
X23 フォント(基本サイズ 48×48 ドット半角のみ)	×	○*1	×	×	×
デフォルト半角フォント	×	○*1	×	×	×
プリンター機種選択	×	○*1	×	×	×
反転文字領域のアジャスト X	×	○*1	×	×	×
反転文字領域のアジャスト Y	×	○*1	×	×	×

設定項目	バージョン				
	1.1d～3.0a	3.1～3.2P6	8.x	9.x	10
反転文字領域サイズ	×	○*1	×	×	×
デフォルト全角フォント	×	○*1	×	×	×

(*1) Ver. 3.2P6のみ

TECB474 機種で作成したプリンター（日本語）の設定

設定項目	バージョン				
	1.1d～3.0a	3.1～3.2P6	8.x	9.x	10
バーコードの指定	○	○*1	×	×	×

(*1) Ver. 3.2のみ

3.2. 廃止された様式ファイル形式と属性変更

FRM 形式の様式ファイル

FRM 形式の様式ファイルは、マイグレーションツールによって XML 形式の様式ファイルに変換されて移行されます。

参考

FRM 形式から XML 形式への変換時の注意点については、次の FAQ を参照してください。

[frm 様式ファイルから XML 様式ファイルへ変換時の注意点](#)

属性変更

様式ファイル内に設定された属性変更は、マイグレーションツールによって属性式に変換されて移行されます。

次の属性変更は、対応する属性式がないため、様式ファイル内から削除されます。

参考

削除される属性変更への対応については、次の FAQ にある「属性変更新旧対応表.pdf」を参照してください。

[属性変更（ダイナミックアトリビュート）から属性式への移行方法について](#)

フィールド（旧属性変更）

属性変更	変更項目
Keta	桁数
HanZen	半角/全角

属性変更	変更項目
TateBai	縦倍率
YokoBai	横倍率
Meido	明度
OutLine	アウトライン
Shadow	シャドウ
Hensyu	編集スタイル
Direction	印字方向
Calc	計算式
Edit	編集式
LinkField	リンクフィールド名
Lock	入力ロック
FF	改ページ
Print	印字
BANNER	バナー自動挿入
ORDER	ソート順変更
BLANK	レコードの挿入
Fit	文字サイズの調整
Underline (*1)	アンダーライン
Paint (*1)	フィールド背景の色

*1 グラフィックモードの場合のみ

フィールド

属性変更	変更項目
colorGradient1	グラデーション開始色
colorGradient2	グラデーション終了色
direction	文字の方向
editStyle	編集スタイル
fixPitch	固定ピッチ
gradientKind	グラデーション区分
horzRatio	横倍率
outline	アウトライン
outlineWidth	アウトラインの線幅
pitch	ピッチ
shadow	シャドウ
strImage	マスク・イメージ

属性変更	変更項目
useGradientPaint	グラデーションを使用
vertRatio	縦倍率
whiteChar	白文字

固定文字

属性変更	変更項目
colorGradient1	グラデーション開始色
colorGradient2	グラデーション終了色
direction	文字の方向
gradientKind	グラデーション区分
horzRatio	横倍率
outline	アウトライン
outlineWidth	アウトラインの線幅
pitch	ピッチ
shadow	シャドウ
strImage	マスク・イメージ
useGradientPaint	グラデーションを使用
vertRatio	縦倍率
whiteChar	白文字

イメージ

属性変更	変更項目
fixSize	印刷サイズ
strFileName	ファイル名

直線

属性変更	変更項目
arrowAngle	矢印の形の角度
arrowPos	矢印の有無・位置
arrowSide	両側・片側矢印
arrowSize	矢印のサイズ
arrowType	矢印のタイプ
curveColor2	線の色 2
curvePattern	線色のパターン
curveTileLineDist	タイル線の間隔
curveTileLineWidth	タイル線の幅

属性変更	変更項目
curveTileType	タイルパターン
lineType	線種
lineWidth	線幅
lineWidthDot	線幅（ドット）

矩形

属性変更	変更項目
cornerRadius	コーナーの半径
cornerType	コーナー区分
curveColor2	線の色 2
curveGradientI	線のグラデーション
curvePattern	線色のパターン
curveTileLineDist	タイル線の間隔
curveTileLineWidth	タイル線の幅
curveTileType	タイルパターン
fillingOutline	外線の有無
fillingType	塗りこみパターン
gradientColor1	グラデーション開始色（塗り込み）
gradientColor2	グラデーション終了色（塗り込み）
gradientCyclic	循環式グラデーション（塗り込み）
gradientI	単一方向グラデーション（塗り込み）
gradientX	十字、X字グラデーション（塗り込み）
gradientX1	グラデーション始点 X（塗り込み）
gradientX2	グラデーション終点 X（塗り込み）
gradientY1	グラデーション始点 Y（塗り込み）
gradientY2	グラデーション終点 Y（塗り込み）
grayScaleType	グレースケール（%）
leftLowerCorner	コーナー選択（左下）
leftUpperCorner	コーナー選択（左上）
lineTileType	直線タイル
lineType	線種
lineWidth	線幅
lineWidthDot	線幅（ドット）
rightUpperCorner	コーナー選択（右上）
rightLowerCorner	コーナー選択（右下）

属性変更	変更項目
roundGradientRadius	円形グラデーション半径 (塗り込み)
roundGradientX	円形グラデーション中心X (塗り込み)
roundGradientY	円形グラデーション中心Y (塗り込み)
tileImageFilePath	タイルのイメージ
tileImageFitting	コンポーネントに合わせる
tileLineDistance	タイル線の間隔
tileLineWidth	タイル線の幅

折れ線・多角形

属性変更	変更項目
arrowAngle	矢印の形の角度
arrowPos	矢印の有無・位置
arrowSide	両側・片側矢印
arrowSize	矢印のサイズ
arrowType	矢印のタイプ
closed	多角形
curveColor2	線の色 2
curveGradientI	線のグラデーション
curvePattern	線色のパターン
curveTileLineDist	タイル線の間隔
curveTileLineWidth	タイル線の幅
curveTileType	タイルパターン
fillingOutline	外線の有無
fillingType	塗りこみパターン
gradientColor1	グラデーション開始色 (塗り込み)
gradientColor2	グラデーション終了色 (塗り込み)
gradientCyclic	循環式グラデーション (塗り込み)
gradientI	単一方向グラデーション (塗り込み)
gradientX	十字、X字グラデーション (塗り込み)
gradientX1	グラデーション始点X (塗り込み)
gradientX2	グラデーション終点X (塗り込み)
gradientY1	グラデーション始点Y (塗り込み)
gradientY2	グラデーション終点Y (塗り込み)
grayScaleType	グレースケール (%)
lineTileType	直線タイル

属性変更	変更項目
lineType	線種
lineWidth	線幅
lineWidthDot	線幅（ドット）
roundGradientRadius	円形グラデーション半径（塗り込み）
roundGradientX	円形グラデーション中心X（塗り込み）
roundGradientY	円形グラデーション中心Y（塗り込み）
tileImagePath	タイルのイメージ
tileImageFitting	コンポーネントに合わせる
tileLineDistance	タイル線の間隔
tileLineWidth	タイル線の幅
windingRule	屈曲規則

正多角形

属性変更	変更項目
curveColor2	線の色2
curveGradientI	線のグラデーション
curvePattern	線色のパターン
curveTileLineDist	タイル線の間隔
curveTileLineWidth	タイル線の幅
curveTileType	タイルパターン
fillingOutline	外線の有無
fillingType	塗りこみパターン
gradientColor1	グラデーション開始色（塗り込み）
gradientColor2	グラデーション終了色（塗り込み）
gradientCyclic	循環式グラデーション（塗り込み）
gradientI	単一方向グラデーション（塗り込み）
gradientX	十字、X字グラデーション（塗り込み）
gradientX1	グラデーション始点X（塗り込み）
gradientX2	グラデーション終点X（塗り込み）
gradientY1	グラデーション始点Y（塗り込み）
gradientY2	グラデーション終点Y（塗り込み）
grayScaleType	グレースケール（%）
lineTileType	直線タイル
lineType	線種
lineWidth	線幅

属性変更	変更項目
lineWidthDot	線幅（ドット）
radius	半径
roundGradientRadius	円形グラデーション半径（塗り込み）
roundGradientX	円形グラデーション中心 X（塗り込み）
roundGradientY	円形グラデーション中心 Y（塗り込み）
tileImageFilePath	タイルのイメージ
tileImageFitting	コンポーネントに合わせる
tileLineDistance	タイル線の間隔
tileLineWidth	タイル線の幅
vertex	頂点の数

円

属性変更	変更項目
curveColor2	線の色 2
curveGradientI	線のグラデーション
curvePattern	線色のパターン
curveTileLineDist	タイル線の間隔
curveTileLineWidth	タイル線の幅
curveTileType	タイルパターン
fillingOutline	外線の有無
fillingType	塗りこみパターン
gradientColor1	グラデーション開始色（塗り込み）
gradientColor2	グラデーション終了色（塗り込み）
gradientCyclic	循環式グラデーション（塗り込み）
gradientI	単一方向グラデーション（塗り込み）
gradientX	十字、X字グラデーション（塗り込み）
gradientX1	グラデーション始点 X（塗り込み）
gradientX2	グラデーション終点 X（塗り込み）
gradientY1	グラデーション始点 Y（塗り込み）
gradientY2	グラデーション終点 Y（塗り込み）
grayScaleType	グレースケール（%）
lineTileType	直線タイル
lineType	線種
lineWidth	線幅
lineWidthDot	線幅（ドット）

属性変更	変更項目
radius	半径
roundGradientRadius	円形グラデーション半径 (塗り込み)
roundGradientX	円形グラデーション中心 X (塗り込み)
roundGradientY	円形グラデーション中心 Y (塗り込み)
tileImagePath	タイルのイメージ
tileImageFitting	コンポーネントに合わせる
tileLineDistance	タイル線の間隔
tileLineWidth	タイル線の幅
vertex	頂点の数

楕円

属性変更	変更項目
curveColor2	線の色 2
curveGradientI	線のグラデーション
curvePattern	線色のパターン
curveTileLineDist	タイル線の間隔
curveTileLineWidth	タイル線の幅
curveTileType	タイルパターン
fillingOutline	外線の有無
fillingType	塗りこみパターン
gradientColor1	グラデーション開始色 (塗り込み)
gradientColor2	グラデーション終了色 (塗り込み)
gradientCyclic	循環式グラデーション (塗り込み)
gradientI	単一方向グラデーション (塗り込み)
gradientX	十字、X 字グラデーション (塗り込み)
gradientX1	グラデーション始点 X (塗り込み)
gradientX2	グラデーション終点 X (塗り込み)
gradientY1	グラデーション始点 Y (塗り込み)
gradientY2	グラデーション終点 Y (塗り込み)
grayScaleType	グレースケール (%)
height	高さ
lineTileType	直線タイル
lineType	線種
lineWidth	線幅
lineWidthDot	線幅 (ドット)

属性変更	変更項目
radius	半径
roundGradientRadius	楕円形グラデーション半径（塗り込み）
roundGradientX	楕円形グラデーション中心X（塗り込み）
roundGradientY	楕円形グラデーション中心Y（塗り込み）
tileImagePath	タイルのイメージ
tileImageFitting	コンポーネントに合わせる
tileLineDistance	タイル線の間隔
tileLineWidth	タイル線の幅
width	幅

ブロック矢印（単一方向）

属性変更	変更項目
arrowHead	矢印の先頭部の長さ
arrowLength	矢印の長さ
arrowPos	矢印の位置
arrowSide	両側・片側矢印
arrowWidth	矢印の幅
gradientColor1	グラデーション開始色
gradientColor2	グラデーション終了色
gradientFilling	グラデーション
lineWidth	線幅
lineWidthDot	線幅（ドット）
stripe	ストライプ
transparency	透明モード
width	柄の幅

3.3. 廃止された API

SVF 製品の旧バージョンで使用できた API 関数のうち、最新バージョン（Ver. 10）で廃止されているものは次のとおりです。廃止された API 関数を使用している場合、ユーザーアプリケーションの変更が必要です。

共通関数

関数名	関数の処理内容	バージョン					
		6.3	7.0	7.x	8.x	9.x	10
VrAttribute/ VrAttributen	フィールドの属性を一時的に変更します。	○	○	○	○	×	× *1

関数名	関数の処理内容	バージョン					
		6.3	7.0	7.x	8.x	9.x	10
VrAbortDoc	印刷を中止します。	×	×	○	○	×	×

*1 XML 様式ファイルに移行せずに、過去に作成した FRM 様式ファイルをそのまま使用する場合は使用できます。

SVF for Java Print で使用する関数

関数名	関数の処理内容	バージョン					
		6.3	7.0	7.x	8.x	9.x	10
VrSetMachineKind	RICOH 製プリンターの機種を指定します。	○	○	○	×	×	×
VrGetFieldCount	様式ファイル内に設計されているフィールドの総数を取得します。	○	○	○	×	×	×
VrGetFieldName	フィールド名を取得します。	○	○	○	×	×	×
VrGetFieldType	フィールドのデータ型を取得します。	○	○	○	×	×	×
VrGetFieldLength	フィールドの桁数を取得します。	○	○	○	×	×	×
VrGetFieldRepeatCount	フィールドの繰り返し数を取得します。	○	○	○	×	×	×
VrGetFieldRecordType	フィールドが入っているレコードの属性を取得します。	○	○	○	×	×	×
VrGetPageRecordCount	行数を取得します。	○	○	○	×	×	×

SVF for PDF で使用する関数

関数名	関数の処理内容	バージョン					
		6.3	7.0	7.x	8.x	9.x	10
VrComout("/{EXCL xlsname}/")	Chart 機能を利用する際の Excel ファイル名を指定します。	○	×	×	×	×	×
VrComout("/{SSHT Sheet}/")	Chart 機能を利用する際の Excel ファイルのシート名を指定します。	○	×	×	×	×	×

関数名	関数の処理内容	バージョン					
		6.3	7.0	7.x	8.x	9.x	10
VrComout("/{SDAT gyono,lineno,data}/")	Chart 機能を利用する際の Excel ファイルのデータを変更します。	○	×	×	×	×	×
VrComout("/{CGRP BmpField,ChartSheet}/")	Chart 機能を利用する際のグラフ出力をおこないません。	○	×	×	×	×	×

4. 印刷結果に差異がある場合の対処

ここでは、マイグレーションを実施することによって印刷結果に差異が発生するケース、およびその対処方法について説明します。

注意

ここに記載されているケースは、現時点で差異が発生することが確認されているケースです。これ以外の差異が発生しないことを保証するものではありません。

- 背景色が有効にならない (p. 42)
- ソフトフォントで IBM 拡張文字が出力されない (p. 43)

4.1. 背景色が有効にならない

現象の内容

背景色の上に背景色を指定した文字を出力すると、上に印字された文字の背景色が有効とならない。



現象の発生条件

以下のすべての条件を満たすと発生します。

1. 既存環境で、Ver. 6.3 から Ver. 8.2 の SVF 製品を使用している。
2. FRM 形式の様式ファイルからの移行である。
3. 背景色のためのフィールド、上に重なる文字出力のためのフィールドの両方で旧属性変更の Paint を指定している。
4. 2.のフィールドが別々の繰り返しフィールドになっている。
5. 印刷実行時に API VrSetForm のモードを「1」で実行している。

現象発生時の対処方法

出力機種がグラフィックモード対応機種の場合は、ユーザーレイヤーを使用することで、アイテムを描画する順番を制御できます。

上に重なる文字出力のためのフィールドをユーザーレイヤーに移動します。

制限

出力機種がベーシックモード対応機種の場合は、アイテムを描画する順番を制御する方法がないため、移行前と同じ出力結果になりません。

4.2. ソフトフォントで IBM 拡張文字が出力されない

現象の内容

SVF プリンターの設定で、[ソフトフォント (IBM 拡張文字)] を「使用する」に設定しているにもかかわらず、IBM 拡張文字に該当する、次の文字がソフトフォントで出力されません。

これらの文字は、エンコーディングによっては、IBM 拡張文字および機種依存文字の 2 通りにマッピングされる文字です。SVF の内部で機種依存文字として扱われることによりソフトフォントとして出力されません。

Unicode のコードポイント	文字
U+2116	Nº
U+2121	TEL
U+2160	I
U+2161	II
U+2162	III
U+2163	IV
U+2164	V
U+2165	VI
U+2166	VII
U+2167	VIII
U+2168	IX
U+2169	X
U+2235	∴
U+3231	(株)
U+FFE2	↯

現象の発生条件

- 既存環境で、Ver. 7.1 P4 から Ver. 7.6 以外の SVF 製品を使用している。
- 帳票出力時のエンコードとして「MS932」を指定している。

現象発生時の対処方法

vfreport.properties ja 内の、次のプロパティの値を「0」に設定することで、IBM 拡張文字として扱われるようになり、出力が可能となります。

```
SoftFont.IBMExtendedCharCheckMode=0
```

制限

古い形式（拡張子が「*.idx」、「*.dat」）のソフトフォントファイルを使用している場合には、本設定で回避できません。

新しい形式（拡張子が「*.sft」）のソフトフォントを使用する必要があります。

注意

- 「SoftFont.IBMExtendedCharCheckMode」は、非公開のプロパティです。マイグレーションによる問題への対処目的でのみ変更可能です。
- プロパティを変更するには、SVF 環境設定のプロパティエディターで変更する必要があります。
プロパティエディターを起動するにはパスワードが必要です。パスワードはサポートセンターへお問い合わせください。